

# 2009 新春座談会 初夢



まちの未来予想図を描いたら・・・  
新春に南部町在住の4人と町長が座談会を行いました。  
南部町のいいところ、足りないところを話しながら、  
住む人が「誇れる町をつくるにはどうしたらよいかを考えました。」

## 南部町のいいところ

野口 新年あけましておめでとうござい  
ます。今日は、坂本昭文町長と、南  
部町在住の4名の方にお集まりいた  
きました。

皆さんは「誇夢の会」という会を立  
ち上げられています。こういった活動  
をされているのか、代表の宇田川さん  
から紹介をお願いします。

宇田川 「誇夢の会」は「誇り」と「夢」  
で誇夢としています。我々4名以外に  
も8名の仲間が活動しており、南部町  
を誇りの持てる町、夢抱ける町にして  
いこうというのが共通した目的です。

野口 早速ですが、皆さんが活動され  
る中で、町外の人に「南部町ってこん  
なに良いところなんです」とアピ  
ルするとしたら、どのように紹介され  
るのか聞かせていただけますか。

濱田 米子が地方都市とすれば、南部  
町は都市部に最も近い、すごく素敵な  
里山だとお伝えします。

長谷川 南部町は自然がすごく良いと  
思います。歴史的にも非常に良いもの  
がたくさんあるんじゃないかと思っ  
ています。

吉田 南部町の良さは、皆さんご存知  
のとおり、桜や一式飾り、柿などです  
が、他にも栗やマツタケ、たけのこな  
どが本場に自分の家の裏山で採れる豊  
かな恵みがあるところです。

宇田川 一番PRするのは歴史の部分  
です。特に出雲神話に登場する赤猪岩  
神社に興味があります。

それ以外では、誇夢の会を立ち上げ  
るにあたって、非常に素晴らしいメン  
バーと巡り会えて、前向きにいろいろ  
なことに取り組んだり、そういった活  
動を、坂本町長はじめ熱心に聞いてい  
ただける。こういった環境が南部町  
の良い所だと思っています。

町長 私は、南部町は豊かな自然に囲  
まれて、本当に豊かな文化・歴史、そ  
して穏やかな人情篤い良い町だと思

ない」ということです。

例えば小さい時は、保育園・小学校  
・中学校をずっと南部町で過ごし、町  
の情報を当然のように知っています。

これが20〜40代になると、高校は米  
子、仕事も米子という生活になり、米  
子中心の生活になります。

自治会に顔を出す50代位になると、  
町の情報を知るようになると思うん  
ですが、米子中心の人達はあまり町を  
知らないし、イベントにも参加してい  
ないんじゃないかと思えます。

南部町に目を向けるような形が必  
要ではないかと議論しています。

町長 イベントをしても若い方の参加  
が少ない。仕方のない事と思ってい  
ましたが、工夫しないといけないと、反  
省も含めて聞かせていただきました。

## みんなが町のことを知るには

野口 若い世代に南部町に興味を示し  
てもらうには、何が必要ですか。

濱田 私は南部町で小中学校を過  
ごしていませんが、地域のことを小学校・  
中学校の段階で、教育的にも家庭的に  
も把握していなかったように思います。  
小学校や中学校の教育の中にもつ

と、地域を知ろうという時間や機会が



昨年行なわれたふるさとウォーク (長田神社)

っています。そういった部分を皆さん  
に言っていたら喜んでいきます。

昨年10月の町長選挙で、私が一番強  
調したかったのは「子どもや孫につけ  
をまわさない、持続的に発展する町」  
ということ。今は財政が厳しく、  
高齢化も進んでいます。そういった時  
に若い世代の皆さんに、町の誇りを的  
確にお話いただき、心強く感じました。

誇夢の会の活躍を非常に期待して  
います。ぜひ頑張ってください。

## 南部町に足りないところ

野口 今度は反対に南部町に足りない  
と思うところはありますか。

吉田 合併してからずっと思ってい  
るんですが、一体感が足りないと感じ  
ます。仕方のないことだと思いますが、  
早く南部町という一体感をもってやれ  
るイベントや活動があればと思います。

町長 小さな合併だったので、もっと  
早く一体感を持てるのではないかと思  
っていました。現実にはなかなか難  
しいのが実感です。スポーツイベント  
などで一体感を盛り上げるのも良いの  
ではないでしょうか。今年は合併5周  
年です。記念のイベントを開催して、  
一体感を作りたいと思っています。

長谷川 先ほど挙がった良い点を伝え  
られていないのが、逆に悪い点かなと  
感じます。住民の子どもから大人まで  
が、良い点を「それ知ってるよ」と言  
えるような情報発信が不足しているよ  
うな気がします。

赤猪岩神社の名前は前から知って  
いましたが、どれだけ重要なものか近  
所なのに知らない。その辺りが非常  
もったいない。

町長 本当にそうだと思います。  
全国どこに出しても恥ぢずかしくな  
いような自慢できるものがたくさんあ  
るのに、それを伝えきれていない。

SANチャンネルという媒体も出  
来たので、これを使ってそういった部  
分も浸透していくのではないかと期  
待しています。

濱田 まずは、この土地で働く場所が  
不足しています。

次に、この町にどんなものがある  
どう消費されているのかを知る、いわ  
ゆる知産知消。それを活かした南部町  
特産の光るものを作りたいと思います。

宇田川 今、誇夢の会で月1回話し合  
いを行っているんですが、その中でも  
問題となっているのは、「知っている人  
は知っていて、知らない人は何も知ら



会見小学校コミュニティ・スクールでの稲刈り

コミュニティ・スクールの取り組みもあり、おじいさん、おばあさんが学校へ出かけて、子ども達と一緒に農作業をしたり、伝承文化を伝える中で自然と地域のことも伝わると思っています。

**吉田** 僕は旧会見町の集落名も有名なところしか知りません。そういうことは知っておくべきだと思います。全部の集落名や行事などを書いたポケットブック、町辞典みたいなものを各家に一冊置き、みんなが読んで知っている。そんなものがあつたら面白いかな。あと、南部音頭をぜひ作っていただきたい。町全員が一つのものを共有できるようになればいいと思います。

**吉田** 柿の採れ始めに、米子で一回「柿の種飛ばし大会」をしてみればと思っ  
ています。やってみると楽しいんですよ。いろんな人を誘って出場したら、一度誘った人は今年も来るんです。人の多い場所であれば、たぶん黒山の人ばかりが出来ます。

### 町の外にコミュニティを持つ

**宇田川** 20代〜40代は、ほとんど米子で生活していて米子のイベントには携わる。米子に南部町民が集まれる、コミュニティを持てる施設があれば、米子にいても南部町をよくすることは考えられるのではないかと思います。  
**町長** 総合福祉センターしあわせなど、町内に集える場はあるが、あんまり若い人の顔が見えない。  
宇田川さんが提案してくれたように、



濱田 美絵 さん

**アイデアと情報が「つながる」場所**  
野口 皆さん方で、「私たちだったら、こうしたい」という想いがあれば、聞かせていただきたいと思っています。

**宇田川** 日韓交流はエマーソンバシフィック社とゴルフの提携の取り組みを行っておられますが、子どもの段階から国際交流を身近に感じる仕組みがあつたら良いんじゃないかと思えます。南部町を中心に、野球とかサッカーを春・夏で定期的に交流戦を行えばもっと楽しいんじゃないでしょうか。  
**濱田** 南部町の良いところや、それを活かすアイデアを地域で知る機会、自由な意見が交換できて、言える場があればと思います。

**南部町** はこんな良いところだよ、今こういう構想が進んでいるよ、という情報を発信できればと思います。

**長谷川** 全国に情報を発信できる場所が必要になってくると思います。企業誘致の面で最近では内陸型の工業団地が好まれるそうなので、南部町は有利だと思います。

そういうことを、行政の方だけではなくて一般の人が知り、南部町のセールスマンとなって全国でいろんなところで話をし、情報発信ができる場が必要だと思います。

米子に集える場、発信の場があると効果的ではないかと思う。

**濱田** 米子の人は結構あちこち出かけています。南部町の情報発信の拠点が米子にあれば、米子の人を通じて、町の情報が外に出て行くんじゃないかという期待があります。

若い世代は飲むか食べるのが好きなので、南部町特産のものをちよつとおしゃれに提供すれば、人が集いやすいと思います。

**町長** 交通の便がよくなってきたことによつて、ふれあい市は地域の人だけが利用するものだと思つていましたが、そうではなく、40〜50km圏内の範囲で利用されているそうです。良いものならどこまでも来るということです。きちんと情報発信をすれば、人は来てくれます。



長谷川 智之 さん



宇田川 正樹 さん

要と思えました。  
**吉田** 僕は商売も町政もアイデアかなと思います。先ほど皆さんがおっしゃったように、いろんなアイデアがあります。

思っていることを内に貯めておくのではなくて、発信できる場、柔軟な発想を具体化できる場があれば楽しくなるんじゃないかと思つています。

**町長** 自由に意見を言える場、情報発信の機会は大事だと思つています。地域振興協議会を中心に、南さいはくでは「ウド」の特産品化に取り組んでいますし、法勝寺地区では「マコモタケ」の本格的な生産をしようという動きがあります。  
また、金田地域一帯で、全部はでかけの米にして「ホタル米」として売り出そうと計画されています。

### 豊かな環境を次世代へ繋ぐ

**町長** 南部町に住む自然観察指導員の桐原さんがおっしゃっていました、南部町は絶滅危惧種の宝庫だそうです。桐原さんの長野県に住む友達が南部町に来て驚いていたそうです。長野の方が自然豊かだと思つていたので、そこでも見られない生き物が南部町にいると感心しておられたようです。我々はそういった生き物が暮らせる豊かな環境にいるのですから、それをきちんと守つて次の世代に繋げていきたいと思っています。

**濱田** 米子駅からわずか20分圏内という場所に、豊かな生物・植物があるというのは、日本の里山として発信していける可能性を持っていると思えます。米子の人や日南の人が南部町に来て「良いとこですな」と言われます。



吉田 慎吾 さん



坂本 昭文 町長

そういった情報を集約して、人の集まりやすい米子で発信していくというのは理にかなつているなと思えました。

### 町の外からPRを始める

**長谷川** 宇田川さんに「南部町の者が米子の人に聞かれた時に答えられないのは恥ずかしい。だから勉強しよう、知ろうとしよう」と言われて本当だと思いました。

**宇田川** 僕は、赤猪岩神社も金田のホタルも米子の人から聞かれて初めて知りました。

**濱田** 逆に外でPRすることで、地元の人に「そんなものがあるのか」と興味を持つこともあると思います。

**町長** 町内の優れたものを外でPRするのは良いと思います。町内だけでは限界がありますから。

南部町は良いところなんです、私たちは町を知らないし、住みすぎて分からない、発信が足りないと感じました。

**町長** 今、南部町では山が荒れていますが、昨年11月に西日本高速道路株式会社より鶴田に130人位来ていただき、広葉樹の植栽をしていただきました。

よその地域の環境に関心がある方の気持ちと、実際に山を手入れできずに困っている私たちとの実情を上手く結んで、工夫しながら美しい自然を守つていきたいと思つています。

**野口** 新春にふさわしい夢のある貴重なご意見を聞かせていただきました。町長には、皆さんが誇りを持って住める南部町へ舵取りをお願いしたいと思います。皆さん今日はありがとうございました。



進行役 野口 隆資